



大雪及び地震に係る鳥取県情報連絡会議

【日 時】令和8年1月19日(月) 午後3時30分～

【場 所】災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）

【参加者】知事、副知事^(※)、政策統轄監^(※)、関係部局、

鳥取地方気象台

(※)…リモート参加

(配信) 総合事務所、市町村、県警、消防局、自衛隊（米子駐屯地）、鳥取河川国道事務所、倉吉河川国道事務所、鳥取運輸支局、中国電力（株）・中国電力ネットワーク（株）、NTT西日本（株）、NEXCO西日本（株）、JR西日本（株）

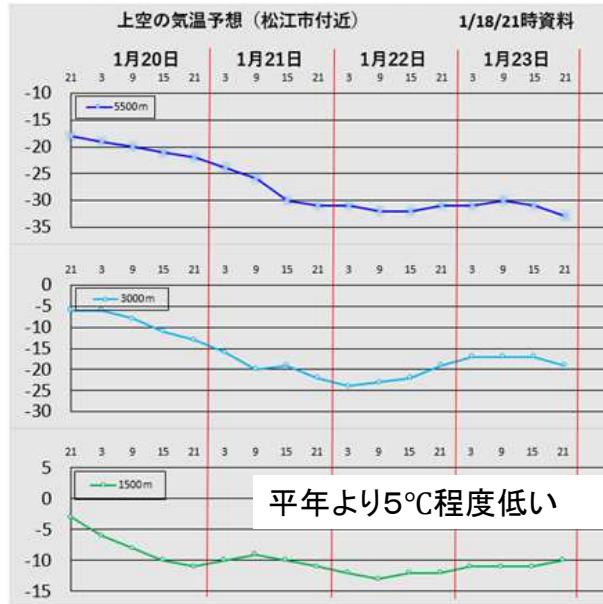
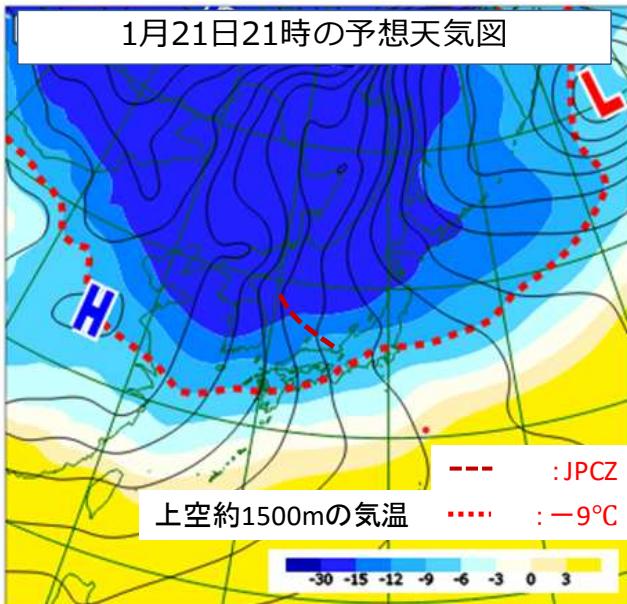
【次 第】

- 1 大雪に関する対応
- 2 地震に関する対応

1

予想天気図と週間天気予報

気象庁 鳥取地方気象台
Tottori Local Meteorological Office, JMA



鳥取県の天気予報（7日先まで）

2026年01月19日11時 鳥取地方気象台 発表

日付	今日 19日(月)	明日 20日(火)	期後日 21日(水)	22日(木)	23日(金)	24日(土)	25日(日)	26日(月)
鳥取県	晴後雨	雲か雨	雲	曇時々晴	曇時々晴	曇一時晴	曇一時晴	曇一時晴
降水確率(%)	-/-/40/80	70/80/50/40	90	80	60	60	60	50
信頼度	-	-	-	A	C	B	B	C
鳥取 気温 (°C)	最高 14	4	5 (2~6)	1 (-1~2)	5 (3~7)	4 (2~7)	5 (2~6)	6 (5~11)
最低	-	1	-2 (-3~0)	-1 (-3~0)	-1 (-3~0)	0 (-1~2)	0 (-2~2)	0 (-2~2)
向こう一週間（明日から7日先まで）の平年値								
降水量の7日間合計			最低気温			最高気温		
鳥取			平年並 29 - 49mm			0.7°C		
						7.7°C		

21日から22日頃にかけて、強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まる。日本海のJPCZは、21日後半には山陰付近を指向。このため、**21日から22日頃にかけて大雪となる**。その後も、冬型の気圧配置が続く見込み。

2

明後日(21日)までの予想

		19日					20日								21日			
		9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時
		昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く				
早期注意情報 大雪																[中]	[中]	
大雨(浸水) (ミリ)	東部	0	1	5	5	5	5	5	5	5	1	1	1	1				
	中・西部	1	1	5	5	5	5	5	5	5	1	1	1	1				
大雪 (センチ)	東部	平地	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0				
		山地	0	0	0	0	0	0	2	5	5	5	4	3	3			
	中・西部	平地	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0				
		山地	0	0	0	0	0	2	1	5	5	5	4	4	3			
なだれ																		
風 (メートル)	東部	陸上	5	6	8	8	8	10	10	10	10	10	8	7	7			
		海上	7	8	10	10	12	13	13	13	12	12	10	8	8			
	中・西部	陸上	5	6	8	8	8	10	10	10	10	10	8	7	7			
		海上	7	8	10	10	12	13	13	13	12	12	10	8	8			
波浪 (メートル)	鳥取県	1	1.5	1.5	1.5	2	2.5	3	3	4	4	4	3	3				
雷	鳥取県																	

警報級

注意報級

■ 警報発表の可能性あり

【雪】

21日は、全域で大雪注意報を発表する見込み。JPCZなどの動向により、午後は警報級の大雪となる可能性がある。

■ 24時間降雪量 (多い所) ■ (20日12時～21日12時)

東部 平地 5センチ
山地 20センチ
中・西部 平地 5センチ
山地 20センチ

■ 24時間降雪量 (多い所) ■ (21日12時～22日12時)

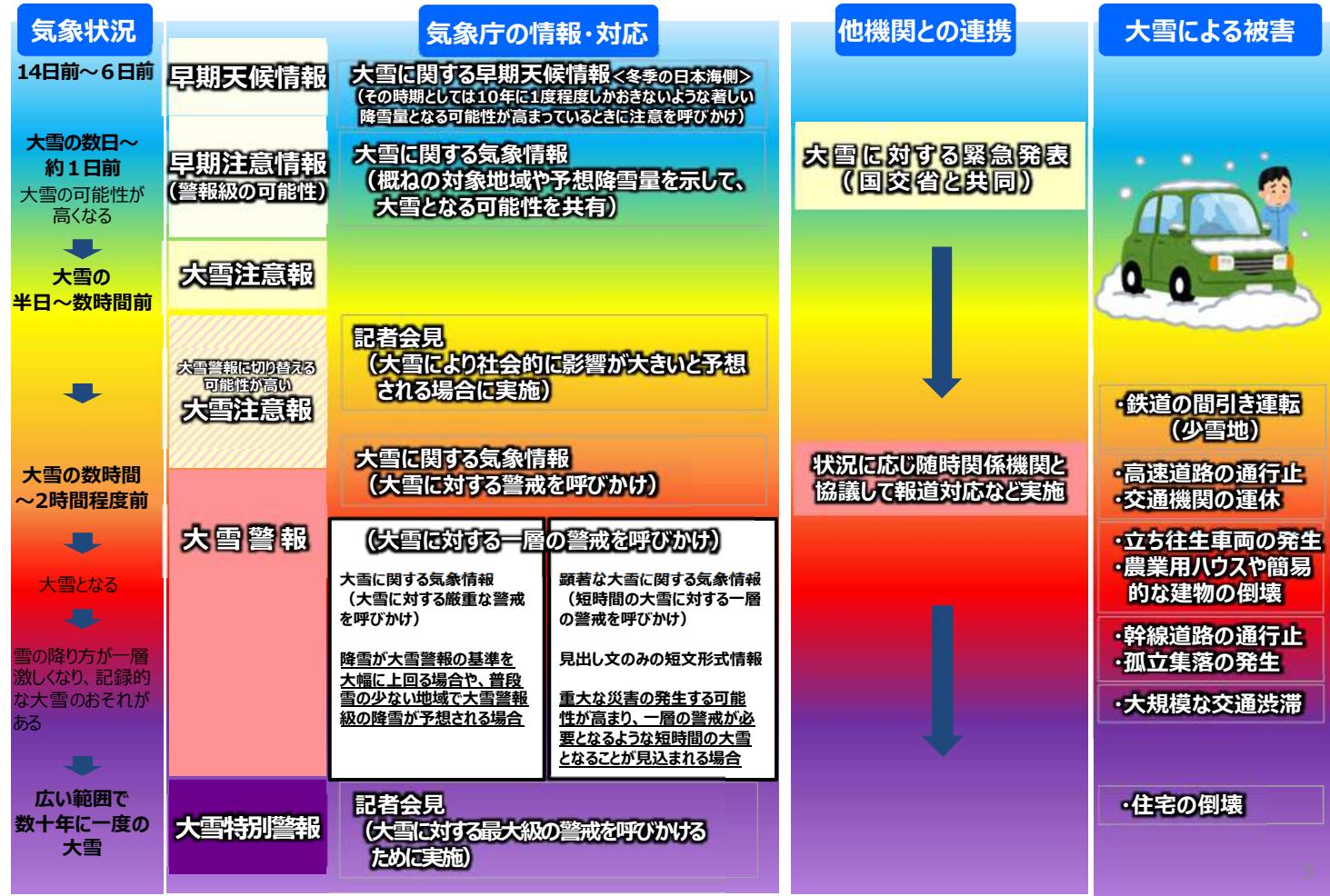
東部 平地 20センチ
山地 40センチ
中・西部 平地 20センチ
山地 40センチ

最新の気象情報は、気象
庁HP等で確認をお願い
します

3

参考資料

大雪のおそれに応じて段階的に発表される気象情報と対応



大雪に関して段階的に発表される防災気象情報

情報発表のタイミング

2週～6日前

社会的に影響を与える降雪が予想される場合は、段階的に情報を発表します。

「早期天候情報」発表

大雪に関して、近畿日本海側と山陰の地域を対象に注意を呼びかけます。

発表日（原則として月・木曜日の14時30分頃）の6日前から14日前までを対象として、5日間降雪量が「かなり多い」となる確率が30%以上と見込まれる場合に発表します。

※降雪量が「かなり多い」とは、その時期にその地域で10年に1回程度の降雪量。

「早期注意情報（警報級の可能性）」発表（明後日以降5日前まで）

警報級の現象となる可能性を、「高」「中」「-」で発表します。

「気象情報」発表

強い冬型の気圧配置などにより、社会的に影響を及ぼす降雪が予想される場合に発表します。

「早期注意情報（警報級の可能性）」発表（明日まで）

警報級の現象となる可能性を、「高」「中」「-」で発表します。

「気象情報」発表

多雪地帯で大雪警報基準以上の降雪が予想される場合、または雪が少ない地域で大雪注意報基準以上の降雪が予想される場合に「大雪に関する気象情報」を発表します。また、雪に対する備えのできていない寒候期初期や普段は雪がほとんど積もらない地域での積雪など、社会的に影響を及ぼす降雪が予想される場合は「雪に関する気象情報」を発表します。

「警報、注意報」発表

警報、注意報それぞれの基準を超える大雪が降ると予想される場合に大雪警報・注意報を発表します。

雪を伴って風が強く、風雪により交通障害等が発生するおそれがある場合は暴風雪警報・風雪注意報を発表します。

数時間前

大雪

大雪に対する一層の警戒を呼びかけ

・「大雪に関する気象情報」発表
(大雪に対する厳重な警戒を呼びかけ)

・「顕著な大雪に関する気象情報」発表
(短時間の大雪に対する一層の警戒を呼びかけ)

数十年に一度の
降雪量となる大雪

大雪注意報	東部	鳥取地区	平地 12時間降雪の深さ15cm	風雪注意報	東部	鳥取地区	陸上 12m/s * 3, 海上 15m/s 雪を伴う	
		八頭地区	山地 12時間降雪の深さ25cm			八頭地区	12m/s 雪を伴う	
	中・西部	倉吉地区	平地 12時間降雪の深さ15cm		倉吉地区	陸上 12m/s, 海上 15m/s 雪を伴う		
大雪警報	中・西部	米子地区	山地 12時間降雪の深さ25cm * 1		米子地区	米子地区	12m/s 雪を伴う	
		日野地区	12時間降雪の深さ25cm		日野地区	日野地区	12m/s 雪を伴う	
大雪警報	東部	鳥取地区	平地 12時間降雪の深さ25cm	暴風雪警報	東部	鳥取地区	鳥取地区	陸上 20m/s, 海上 25m/s 雪を伴う
		八頭地区	山地 12時間降雪の深さ40cm			八頭地区	八頭地区	20m/s 雪を伴う
	中・西部	倉吉地区	平地 12時間降雪の深さ25cm		倉吉地区	倉吉地区	陸上 20m/s, 海上 25m/s 雪を伴う	
		米子地区	山地 12時間降雪の深さ40cm * 2		米子地区	米子地区	陸上 20m/s, 海上 25m/s 雪を伴う	
	日野地区	12時間降雪の深さ40cm			日野地区	日野地区	20m/s 雪を伴う	

* 1 大山（アメダス）の観測値は35cmを目安とする。

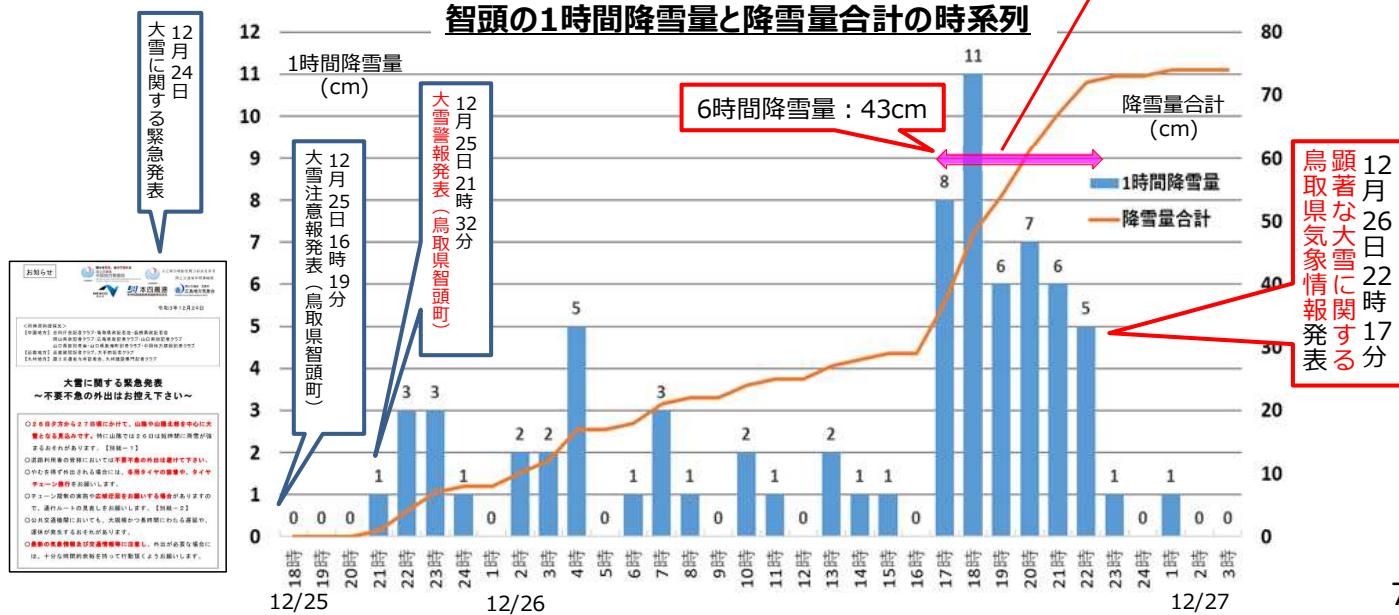
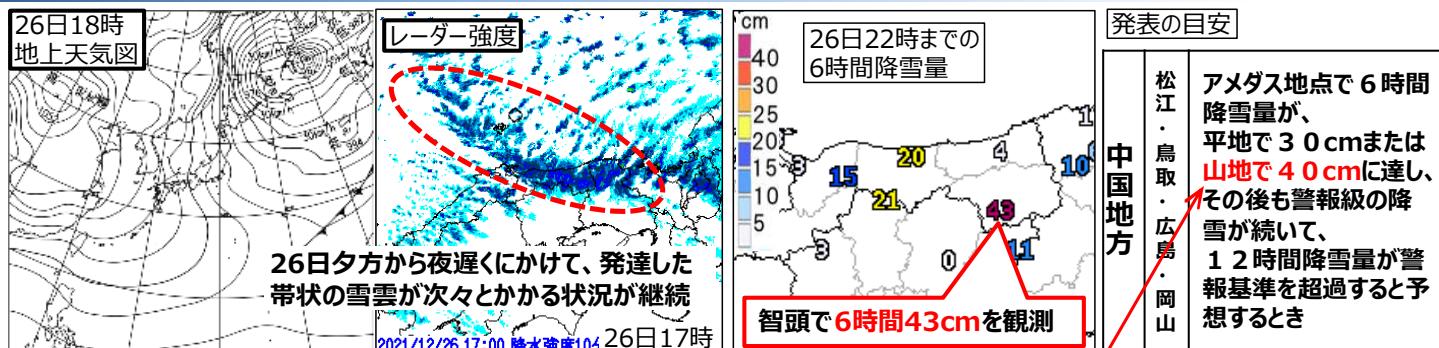
* 2 大山（アメダス）の観測値は55cmを目安とする。

* 3 湖山（アメダス）の観測値は15m/sを目安とする。

「特別警報」発表

府県程度の広がりをもって50年に一度の積雪深となり、かつ、その後も警報級の降雪が

丸一日程度以上続くと予想される場合に大雪特別警報を発表します。



地震後の降雪についての注意事項

- 今回の降雪は、数日間継続すると見られます。積雪量の増加にご注意ください。
- 今後の大雪で雪の加重が大きくなり、建物被害の拡大や倒木、停電の危険性が高まる可能性があります。
- 雪崩の発生や地震で地盤が緩んだ箇所の土砂災害にご留意ください。
- ブルーシートによる応急対応中の屋根からの落雪にご注意ください。

県の対応方針(基本的な考え方)

方針	<p>○関係機関と連携した事前防災対策の徹底 大雪警報発表までに注意喚起・周知と事前対応により、スタック車両や車両の停留、孤立集落の発生等を未然に防止</p> <p>○事案発生時における迅速かつ的確な対応 スタック等発生時は関係機関と密接に連携</p>
----	--

	大雪 2~3日前 <u>早期注意情報 (警報級の可能性)</u>	大雪の半日~数時間前 <u>大雪注意報</u>	大雪の数時間~2時間程度前 <u>大雪警報 顕著な大雪に関する情報</u>	広い範囲で数十年に一度の大雪 <u>大雪特別警報</u>
県の体制	■ 情報連絡会議の開催	■ 注意体制	■ 警戒体制 (必要に応じ警戒本部)	■ 非常体制 (災害対策本部)
対応等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市町村等への依頼 <ul style="list-style-type: none"> ・ 早めの住民への情報提供、注意喚起 ・ 孤立集落発生に備えた支援準備 ・ 車両等の長時間立ち往生時の支援準備 ・ 避難所の準備 ■ 除雪資機材等の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 道路監視強化 ■ 除雪出動の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関係機関との情報共有体制の強化 ■ 気象防災オンライン会議接続 ■ 応急対応準備 (孤立集落支援) (スタック車両発生時の対応) ■ 重点除雪区間を中心に除雪 	<ul style="list-style-type: none"> 車両の滞留発生 孤立集落の発生 人命救助に係る事案 大規模停電、通信障害の発生 ■ 立ち往生車両、孤立解消のための除雪 ■ 通行規制による集中除雪 ■ 避難所の設置 ■ 食料・燃料・宿泊場所等の提供 ■ 自衛隊の災害派遣 ■ TEC FORCEの派遣
広報・周知	<ul style="list-style-type: none"> ■ H Pによる注意喚起 (情報発信・周知) ■ あんしんトリピーメール等による行動抑制情報・注意喚起 ■ 農林漁業者等への注意喚起 ■ 業界団体への協力依頼、注意喚起 		■ 広域巡回の呼びかけ・通行規制情報の周知	

9

市町村・県民への注意喚起等

(1) 市町村への依頼事項(その1)

1 事前の準備

災害の未然防止、災害発生時の確実な対策実施のため、事前の準備をお願いします。

孤立集落発生等に備えた支援準備	<p>集落への注意喚起や対策の再確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 孤立集落との連絡手段の事前確認、非常通信手段の確保・配備 ・ 支え愛避難所の把握・支援方法の確認 ・ ライフライン障害発生に備えた救援物資（食糧、飲料水、暖房機器（ストーブ等）モバイルバッテリー、小型発電機等）及び避難所の提供準備 <p>※ 県では緊急用に衛星携帯電話 6台、スターリンク（衛星通信機器）5台、EV用の外部給電器 10台、ポータブル電源 10台を貸出可能。</p>
初動体制の確立	<p>夜間や時間外を踏まえた、参集・対応体制の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員参集体制（時間外参集、呼び出し基準、参集人員） ・ 気象情報の収集伝達方法・体制 ・ 常時オンライン情報共有の接続準備（機材、URLなど）
避難体制の確立	<p>住民の避難が確実にできるよう、体制の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難情報の発令基準 ・ 消防団等への連絡手段 ・ 避難所の開設準備、開設手順、開設の連絡方法 等
避難行動要支援者等の支援	<p>高齢者、障がい者等の避難行動要支援者や、要配慮者利用施設など、避難が困難な方の支援について準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別避難計画作成者等への情報伝達手段、避難支援体制等 ・ 要配慮者利用施設等への情報伝達体制、避難誘導支援等

10

(1)市町村への依頼事項(その2)

2 被害状況（孤立集落、車両停滞等）の迅速な報告

被害規模を早期に把握し、迅速な救助や関係機関の速やかな応援を行うため、**被害等の迅速な報告**をお願いします。

定時報告と、緊急時の隨時報告

3 避難情報等の発信と周知

住民の身体・生命の安全確保のため、確実に避難行動が行われるよう、**的確な避難情報の発信と周知**をお願いします。

- 夜間・危険な状況での避難とならないよう、早めの避難情報発出を検討して下さい。
※状況急変時は、夜間でも避難情報の発出が必要
- 避難情報発出にあたっては、気象情報等を収集し、必要に応じて県又は気象台に助言を求めてください。
- 確実に住民へ避難情報が伝達されるよう、防災行政無線他様々な手段による伝達をお願いします。
- 障がいのある方への災害情報の伝達については、障がいの特性に応じた合理的な配慮をお願いします。
- 通勤・通学時に大雪が予想される場合等は、無理な外出を控える等の呼びかけを検討ください。
- 小中学校の臨時休業の基準や連絡体制等を改めて確認してください。

11

(1)市町村への依頼事項(その3)

4 避難所の開設及び環境整備等

避難所の開設と、避難行動が促進されるよう避難所環境の確保をお願いします。

避難所環境の確保	避難行動促進のため、避難者ができるだけ快適に過ごせる避難所環境の整備 <ul style="list-style-type: none">・ ベッド、テント、パーティションなどによるプライバシー環境の確保・ 暖房機器の設置・ 福祉避難所の開設 等 <p>※ 県では、停電時の給電対策として、EV用の外部給電器 10 台、ポータブル電源 10 台を貸出可能。</p>
避難所の感染症対策	人が多く集まる避難所での基本的な感染症対策 <ol style="list-style-type: none">① 可能な限り多くの避難所を開設② 避難者の健康状態の確認③ マスク着用の推奨、頻繁な手洗い、咳エチケット等基本的な衛生対策の徹底④ 避難所内での定期的な換気の実施、避難者同士の十分な間隔を確保

12

5 水道の凍結対策（低温時）

【市町村への依頼事項等】

断水が生じることのないよう、事前対策の徹底を再度依頼済(1/19)

＜対策＞

- 凍結防止に関する住民への注意喚起
- 配水池水位のモニタリング(凍結防止対策等に伴う水位低下のおそれ)
- 減圧給水を行う場合などの丁寧な情報発信
- 空き家、普段使用しない公園・墓地等の止水栓の閉止

＜過去の低温被害の事例＞

R5.1 倉吉市閑金：水道管の破裂や流水措置等により配水池の水位が低下し、減圧給水を実施

R3.1 米子市：空き家・公園・墓地等の水道管の凍結破損等により配水池の水位が低下し、減圧給水を実施

13

(2) 県民への注意喚起等(その1)

1 最新の気象情報等に注意

最新の気象情報や道路情報・交通情報などを確認して行動をお願いします。

気象情報

▶ 気象庁ホームページ <https://www.jma.go.jp/>



警報・注意報/今後の雪（降雪短時間予報）など

避難情報・避難所開設

- ・各市町村ホームページ
- ・防災行政無線
- ・エリアメール など

積雪の状況

▶ 鳥取県防災情報ポータル

<https://tori-bousai.jp/>



- ・県内約300か所の道路カメラ画像を提供、路上積雪深・路面温度を表示
- ・自然積雪深の表示にも対応

▼サイト内メニューの

行きみちナビ (ゆきみちナビ) からアクセス!

積雪量

県の発信ツール

鳥取県の防災情報お届けツールは
こちらのQRコードから
<https://www.pref.tottori.lg.jp/210753.htm>



避難情報・避難所開設状況/交通情報/
道路情報/ライフライン情報 など

▶ ホームページ「とりネット」

<https://www.pref.tottori.lg.jp/>

注意情報などのまとめページを設置（トップページの「防災・救急」又は特設リンクから）

▶ 「あんしんトリピーメール」

スマホ、携帯電話等に気象情報・防災情報等をメールで配信

▶ 防災アプリ「あんしんトリピーなび」

「あんしんトリピーメール」のプッシュ通知や最寄りの避難所情報など
9言語に対応

▼各種防災情報

▲特設リンク

その他

▶ テレビのデータ放送

リモコンの「dボタン」から



▶ 各種スマートフォンアプリ

Yahoo!防災速報 など



<https://emg.yahoo.co.jp/>

14

(2) 県民への注意喚起等(その2)

2 降雪時の注意事項（1）

不要不急の外出を控える

大雪による視界不良時は不要不急の外出、車の運転をなるべく控える

- 雪道で運転するときは、必ず冬用タイヤの装着やチェーンを準備
- 買い物が困難になるほか、商品配送が大幅に遅れる可能性があるため、食料・水などをあらかじめ備蓄
- 倒木等による停電や通信障害も想定されるため、明るいうちに防寒や照明など停電時の対策を実施（緊急の場合は近所の方等に助けを求める）
- 低温が見込まれるので、水道管や路面の凍結に注意

雪道での車の運転に注意

出来るだけ運転を控える

- 気温が下がっている時は路面の凍結に注意。特に日陰や峠道、橋の上は凍結しやすいので、慎重に運転・通行
- スコップ・飲食料・毛布などの車内準備や、車のガソリンをこまめに満タンにしておくなど、大雪時の渋滞や立ち往生に備える
- 万が一、車が雪で埋まつたら、一酸化炭素中毒防止のため、できるだけエンジンを切り、マフラー周辺を定期的に除雪

停電への備え

万一の停電に備えて、懐中電灯、携帯ラジオ、モバイルバッテリー、携帯電話の充電器、電気を用いない暖房機器（石油ストーブ）・防寒具（毛布・カイロ）などを準備

孤立時への備え

- 大雪による倒木により、道路の通行止めが発生する可能性があるため、食料、水、燃料等を十分に備蓄するとともに連絡手段を確保
- 親戚や知り合い、ホテルなどへの事前避難も検討

なだれや屋根からの落雪に注意

- 斜面下の付近にお住いの方は、建物の2階などの高く、斜面から離れた場所で生活するよう心掛け、なだれ注意報等の気象情報やなだれの前兆現象（雪の裂け目や雪の固まりが転げ落ちるなど）に注意し、早めの避難に努る
- 新雪や晴れの日の雪のゆるみによる屋根等からの落雪、つららの落下、電線からの落雪に注意

15

(2) 県民への注意喚起等(その3)

2 降雪時の注意事項（2）

水道管の凍結・破裂に注意

-4度以下の低温が予想される場合は特に注意

- 凍結を防ぐには、水道管や蛇口の部分に保温材を取り付けたり、少しずつ水を出し続けておくと凍結にくくなる
- 凍つてしまったら、自然に溶けるのを待つか、凍った部分に布やタオルをかぶせて、その上からぬるま湯をかけてゆっくり溶かす
- 給湯器の配管の凍結にも注意

除雪作業中の事故防止対策

- 雪下ろしなどの除雪作業は複数人で、はしごを固定し、ヘルメット・命綱を正しく装着
- 除雪機を使うときは周囲に人がいないことを確認し、雪詰まりの取り除きはエンジンを切る
- 作業のときには携帯電話を持つ

▶ 県ホームページでも
雪に関する注意情報を提供中

<https://www.pref.tottori.lg.jp/yuki/>



船舶の転覆・沈没に注意

- 定期的な係留状況の確認、早目の準備（陸揚げ保管、係留の強化等）
- 単独作業を避け、必ず救命胴衣を着用

食料・水等の備蓄

長期の降雪で外出が困難になったときに備え、食料・水・生活必需品等を備蓄
(最低3日分、推奨7日分)

【備蓄の例】

飲料水 3日分（1人1日3リットルが目安）

非常食 3日分の食料として、ご飯（アルファ米など）、
ビスケット、板チョコ、乾パンなど

その他 トイレットペーパー、ティッシュペーパー・マッチ、ろ
うそく・カセットコンロ など

16

(3) 県外からおいでになる皆様へ

大雪が予想される場合に県ホームページに掲載して注意喚起を実施

- 最新の気象情報や道路情報、交通情報を確認してください。
- 大雪の時は不要不急の外出、車の運転をなるべく控えるよう強くお願いします。
- 車でお越しになる場合は、必ず冬用タイヤの装着やチェーンの準備をしてください。
- 大雪のときは大型車両の来県は控えてください。

※県内では、大型トラックや大型トレーラーによる立往生が多発します。

他地域を経由した広域迂回を検討してください。

※なお、鳥取県に入ってくる時は、道路情報の十分な確認と冬用タイヤの装着、タイヤチェーンの準備を必ずお願いします。

17

大雪時の警戒・即応体制の確保

体制の確保

社会生活に大きな影響が生じる場合等、状況に応じて体制強化。各部局、各市町村におかれては、連絡・即応態勢の確保・再確認をお願いします。

- ◆気象予報の変化を早め早めに収集・分析し、本県への影響について警戒・監視を行う。
- ◆大雪警報、暴風(雪)警報(風が陸上25m/s以上)が発表された場合、県の体制を「警戒体制」に移行する。

<大雪時の体制移行のめやす>

- ・注意体制 大雪注意報の発表、公共交通機関の予定運休情報を入手した場合
- ・警戒体制（1） 大雪警報、暴風雪警報（陸上最大風速25m/s以上）の発表
- ・警戒体制（2） 顕著な大雪に関する情報の発表、災害発生またはそのおそれがある場合 等〔災害警戒本部を設置〕
- ・非常体制 特別警報の発表、甚大な被害が発生した場合等〔災害対策本部を設置〕

- ◆関係機関相互の合同対策協議(情報共有等)のため、必要に応じてWeb会議(常時接続)を開設。

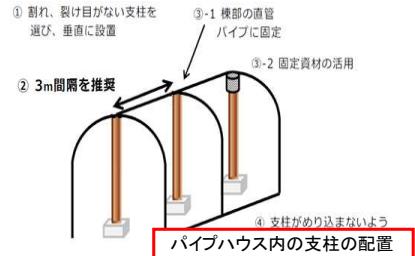
18

農林水産関係への対応

農林水産業者、関係団体などへ寒候期における各種対策等、注意喚起を実施

1 農業關係

- 「寒候期における農業技術対策」、「果樹の雪害対策マニュアル」、「農業用パイプハウス強化マニュアル」を踏まえて、雪害・凍結・凍害に対する対策対策を徹底するよう各市町村、農協、農林局等を通じて生産者へ周知。(1/16)
 - 特に新規就農者等へパイプハウスの雪害対策やかん水施設・ポンプの凍結による破損回避の徹底を普及所を通じて周知。(1/16)



耕種農家	<p>◇積雪前の粗せん定、果樹棚用の中柱(突き上げ柱)を追加補強</p> <p>◇野菜(秋冬ねぎ)◇土寄せの徹底、バンド補強(出荷約6割終了)</p> <p>◇パイプハウス◇防風ネットや寒冷紗を取り除く(雪が滑り落ちにくく、倒壊につながるため)</p> <p>◇支柱の配置(モウソウ竹、間伐材、直管パイプなどをハウス内部で地面から天部に突き上げる)</p> <p>◇アーチパイプ地際部の補強(経年劣化で腐食が進んでいる場合は、補強用のパイプを差し込む)</p> <p>◇降雪前にハウスを密閉(内部の温度を高く設定し、融雪を促すため)</p> <p>◇二重被覆による保温やかん水施設・ポンプの水抜き(畜産施設を含む)</p>
畜産農家	各JA、県農林局等を通じて、畜産農家へ畜舎の保温対策、給水管の凍結防止等を周知。

2 農地・ため池関係

- 降雪・積雪期における農業用用排水路の安全管理の徹底及び、地震等による被災箇所の拡大防止対策、工事現場の安全管理の徹底について各市町村、県農林局へ連絡。(1/16)

3 林業關係

- 各総合事務所(八頭事務所・林業試験場含む)に対して、管内事業者及び各市町村への大雪に係る災害発生防止に向けた情報収集と安全管理の呼びかけ徹底を連絡。(1/16)
 - 各林業関係組合に対して、台風7号で被災した林道等に近づかない等、各組合員への安全対策・安全管理の徹底を連絡。(1/16)

4 水産関係

- 各漁業協同組合や水産関係団体向けに、漁業関係者の安全確保、漁船・漁具、漁港・海岸保全施設、漁業用施設等における防災措置について連絡。(1/16) 19

道路の除雪体制等

1 1/20～の降雪への対応

- 地震の影響により斜面の緩みが懸念される震度5弱以上を観測した地域では、降雪・融雪時の道路パトロールを重点的に実施

■ 高規格道路通行止め時に県管理国道の同時通行止め

- 米子道通行規制時は、国道180号（明地峠）、181号（四十曲峠）、482号（内海峠）を同時通行止めし、積雪状況など確認の上で**広域迂回**を誘導
 - 鳥取道通行規制時は、国道373号を同時通行止めし、積雪状況など確認の上で**広域迂回**を誘導

■ 引き続き事前の広報を行うとともに、気象予報を注視し、必要な体制を準備

■ 規制時は、道路情報提供装置により周知し、早めの迂回を促す



2 情報発信と関係機関との連携

■ 危険な雪道のノーマルタイヤ走行を行わないよう強く呼びかけ

- 雪道のノーマルタイヤ走行によるスリップや事故が相次いでいることから、走行しないようトリピーメール等で情報発信（1/19から実施中）



■ 広域迂回のメッセージを事前に発信

- 大雪の際は主要峠を利用しないよう強く呼びかけ（1/19から実施中）
- 規制状況については、トリピーメール・X・県HPによる情報発信とともに、県内・隣接県の道の駅、高速道路のSA・PA、道路情報板などで情報を掲示
- 本県利用が想定される中国・四国・近畿・九州地区のトラック協会に雪への備えを呼びかけ

■ 各道路管理者（国・NEXCO・県）間の密接な連携

- 関係機関が常時接続により、除雪・交通状況等を共有し連携して対応
- 県管理以外の道路で滞留事案が予見される場合は速やかにリエゾンを派遣し、詳細な情報を収集

21

県民のみなさまへのお願い

除雪作業にご理解、ご協力を！

生活道路の確保と安全な冬道対策として、除雪作業を行っています。安全かつスマートに除雪作業を行えるよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- 除雪時の作業騒音にご理解ください。
- 除雪の妨げになる路上駐車はやめましょう。
- 玄関先や車庫前の雪かきは各家庭でお願いします。
- 道路ぎわの樹木、竹等は所有者で伐採しましょう。
- 車道への雪出しあはやめましょう。

大雪が予想される時は不要不急の外出を控えましょう

- 道路の通行止めや車両の立ち往生、公共交通機関の長期間かつ大規模な遅延や運休が発生することがあります。
- やむを得ず移動される際は、大雪が予想される地域を避けた広域迂回にご協力をお願いします。
- 大型車両などの登坂能力の低い車両は、峠など急な坂道を有する道路の通行は避けてください。

融雪による土砂災害に注意してください

- 1月6日の地震に伴い、同日12:30から江府町、日野町の土砂災害警戒情報発表基準を暫定的に引き下げて運用中
- 斜面崩壊の恐れのある赤井谷川治山工事現場（鳥取市河原町北村）にて、伸縮計及び監視カメラによる随時の観測体制に切り替え（1月19日～）。

公共交通機関の対応

(1)公共交通機関の状況(1/19 12時現在)

＜鉄道＞JR西日本、智頭急行、若桜鉄道

＜バス＞日ノ丸自動車、日本交通

＜航空＞ANA、エアソウル、タイガーエア

＜船＞隱岐汽船

現時点では気象条件により運休等が決まっているものはない。

※休日・夜間を含め、交通事業者との連絡体制を確立済

(2)県民等への情報提供

- ・運休等が発生した場合は、交通事業者や県のホームページ、あんしんトリピーメール等で県民に随時情報提供する。
- ・路線バスの遅延状況はバスロケーションシステム「バスキタ！とっとり」のホームページにてリアルタイムで確認可能。

公共交通をご利用の際は、最新の気象情報に加え、公共交通機関の運行情報を各交通事業者のホームページ等で確認の上行動をお願いします。

23

学校・教育機関等への対応

1 降雪に係る対応等

○今後の情報に留意し、児童生徒の安全確保等を最優先に対応を行う。

2 学校・教育機関への注意喚起等

○早期に気象情報(警報の有無等)を把握の上、児童生徒の安全確保に万全を期することを依頼するとともに、施設設備の被害防止等について、注意喚起する。

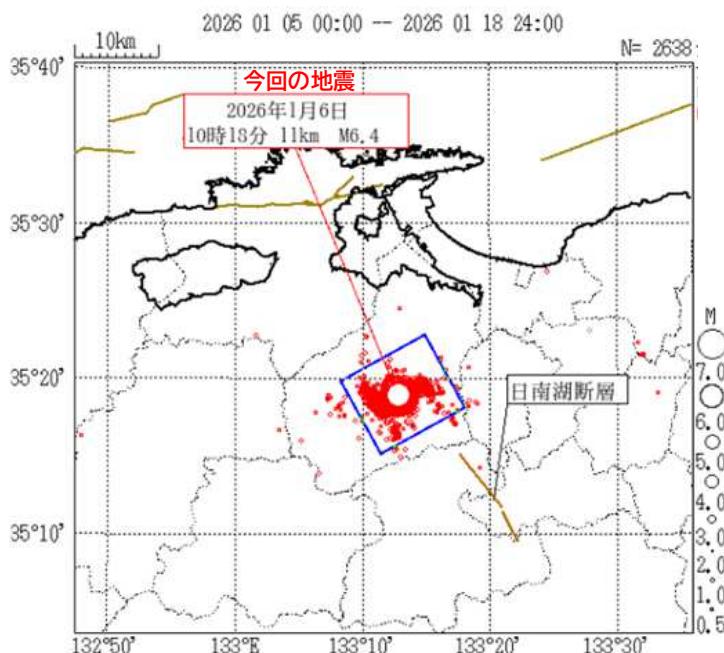
○気象庁や各公共交通機関など各機関が発する気象情報や交通情報の早期把握に努め、遗漏がないよう周知する。

地震に関する対応

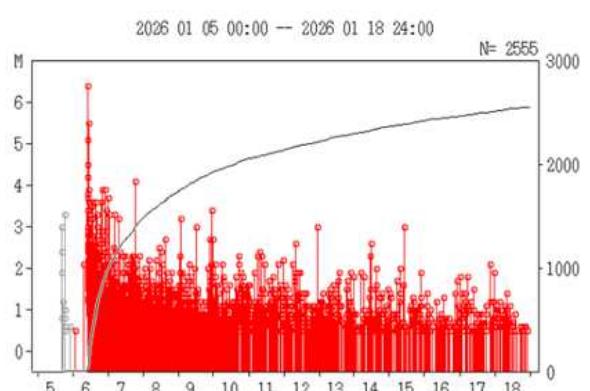
25

地震活動の状況

【震央分布図】
(2026年1月5日～2026年1月18日、深さ0～20km、 $M \geq 0.5$)
丸の大きさはマグニチュードの大きさを表示
地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を細線で表示



【左図の青色四角形領域内の地震活動経過図+回数積算図】



※本資料で表示している震源は速報値を含みます。

※速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されることがあります。

26

日別	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数	
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計
1/6 00時-24時	22	9	4	1	1	1	0	0	0	38	38
1/7 00時-24時	3	2	2	0	0	0	0	0	0	7	45
1/8 00時-24時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45
1/9 00時-24時	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5	50
1/10 00時-24時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50
1/11 00時-24時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50
1/12 00時-24時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	51
1/13 00時-24時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51
1/14 00時-24時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	52
1/15 00時-24時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	53
1/16 00時-24時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53
1/17 00時-24時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53
1/18 00時-24時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53
1/19 00時-08時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	54
総計	31	14	6	1	1	1	0	0	0	-	54

(注)1月6日10時18分に発生した最大震度5強の地震のほか、その直前の10時17分に発生した地震1回(最大震度2)を含んでいます。

罹災証明

■今週中には西部地区の全市町村で受付開始

■受付・被害認定調査に係る応援職員派遣調整中

・1/26～ 南部町(被害認定調査業務)・10名/日

<受付状況>

【1月19日時点】

	米子市	境港市	大山町	日吉津村	南部町	伯耆町	日南町	日野町	江府町	琴浦町	合計
受付件数	0	17	0	0	152	0	1	0	0	3	173

住宅に関する相談対応等

○住宅に関する相談

・西部総合事務所の「住宅修繕・相談支援センター」及び南部町役場のサテライト相談窓口で対応中

※建築関係団体と県の建築技師を派遣

<相談受付状況>

住宅被害に関する相談は累計で436件(1月18日17時時点)

(内訳)罹災証明: 164件(約38%)

補助金: 89件(約20%) →各市町村で予算措置の手続き中

ブルーシート: 83件(約20%) など

○屋根へのブルーシート掛けの依頼があったものは 全て対応済

→降雪による雨漏りの懸念は低減

29

島根県東部を震源とする地震における局地激甚災害見込み（境港市）

概要

○弓浜干拓地（境港市中海干拓地）では、農地液状化のほか、干拓地を取り囲む排水路（潮廻し水路）の崩壊などの地震被害を受けており、被害額が増大している。（現時点被害見込額：237百万円）

○今回被災規模は、局地激甚災害指定基準を満たす見込みであり、早期局激指定期間及び災害査定の速やかな実施等について、1月20～21日に国要望（内閣府、農林水産省）を実施。

弓浜干拓地の被災状況 (R8.1.16時点)

工種	事業量	被災状況	被害見込額
農地（畳）	44区画	液状化、畠面沈下等	16百万円
排水路	L=608m	潮廻し水路の崩壊	200百万円
道路	5箇所	路面沈下、路肩崩壊、ひび割れ等	15百万円
その他水路	1式	パイプライン破損等	6百万円
合計			237百万円

■農地の液状化（44区画）



■農道路面沈下



■潮廻し水路の崩壊 (L=608m)



対応状況

○1月9日に相談窓口を設置するとともに、農業改良普及所による農家等への巡回指導で、営農継続・再開を支援
※被害状況について継続調査中

○令和7年度1月補正予算（専決）等を活用しながら、農地、土地改良施設等の早期復旧を支援



30

観光分野における風評被害対策

◆発災から宿泊施設のキャンセル状況(1月16日時点)

影響施設数: 65施設、1,539件3,452人

※地震発生時に、公共交通機関の運休や自動車道の通行止めなどにより、宿泊キャンセルが発生。宿泊施設の建物等に大きな被害はなく、多くの施設では、安全確認を行ったうえで営業を続けているが、余震の心配などにより、宿泊キャンセルが発生した。

◆山陰両県が連携した情報発信

- ・ 共通ビジュアルを活用し両県がSNS・WEB、県外イベントやメディア発信の中で「山陰は元気です」をPR(1月16日～)



◆風評被害防止等に関する要望活動

- ・ 1月20日に島根県と合同で、国及び一般社団法人日本旅行業協会に緊急要望

◆「馬取県で馬っとるけん」首都圏メディア発表会

- ・ ガンバレルーやさんを応援団長に任命し、午年にちなんだ県内観光や、地震に負けず通常営業しているので安心して観光に来て欲しいことをアピール(1月21日 とつとり・おかやま新橋館)